葉を描くコツ（光と陰）　　202210 skoike

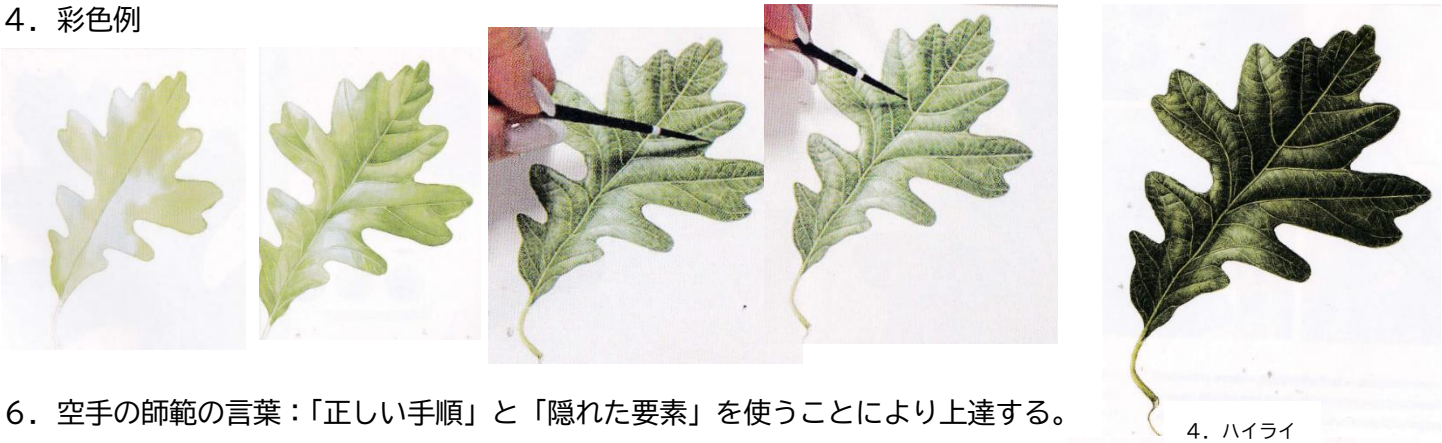
・観察とは：脳が気づくプロセス。気づかないと描けない。
・武道：「分解」の連鎖プロセスに忠実に。が、隠れた「要素」がある。
・決定線が無いと色を置くことができない。彩色の分解能を左右する。
・必ずハイライトを付与して、絵のトーン幅と立体感を高める。

1．ハイライトと陰をはっきり認識する：左からの白色光１点投稿
彩度に紛らわせられることなきよう意識する。ハイライトと陰を白黒グレーのモノトーンで観る。

2．観察とスケッチのチェックポイント：気づかないと描けません。
・色（濃い色の部分、明るい色の部分）
・凹凸曲面（ふくらみ、ウェーブ）
・形（縁の丸み、ふくらみの位置、長さと幅の比率）大きさ
・明暗（明るいところ、暗いところ、鈍く光っているところ）
・質感（つるつる、ざらざら、固さ、毛の有無）
・先端のとがり
・葉と葉柄の接続部：密線など
・葉脈（主脈、側脈、細脈）の流れ、網目状態
・鋸歯（ギザギザの形状、数）
・葉柄の断面形状（触ってみる）、托葉の形状
・裏面（基調色、毛の有無）

3．ハイライトの色、基調色を見極める
・濃色と淡色を評価できる色見本紙を使う
・ハイライトの微妙な色味：薄色見本の一番近い色を見つける
・葉色の基調色：濃い色の色見本で一番近い色を選び、
その色より右側または左側の色に近づけるべきかを決める

4．彩色例



6．空手の師範の言葉：「正しい手順」と「隠れた要素」を使うことにより上達する。
（それがうまく描くコツです）。全ての隠れた要素を学んだ時、ようやく技を習得し始めることができる。

6．参考動画

葉１　https://www.youtube.com/watch?v=XXM4Zy1d5aQ
葉２　https://www.youtube.com/watch?v=0YSScjCnZHw
葉３　https://www.youtube.com/watch?v=Z0K8TCAkvrA
葉４　https://www.youtube.com/watch?v=KjtRF6LoRx4